

# 第12回インターナショナル・フェスティバルから

## ジャワ音楽と舞踊

### ジャワの音楽と舞踊

公演のタイトルは Sumilir(そよ風)です。インドネシアの音楽と踊りを楽しみながら涼しい風を感じてという意味です。

### 観て 聴いての感想

- \* さわやかで素朴で、心に響く音楽でした。
- \* 幻想的で聴いているとジャワの風が聞こえてくるような雰囲気を感じました。
- \* アンクロンの音色がとてもさわやかで、民族楽器らしさを感じました。
- \* 地域の方々の応援があって、とても盛り上がり、この会場にも沢山の人が入って来たのでびっくりしました。

### 1 ジャワの舞踊 (Gambyong Pangkur)

村の祭りや結婚式、お米が沢山とれた時に踊るおめでたい踊りです。



### 2 Es Lihn(曲名)

民族楽器アンクロンとガンパン(竹で作られた楽器)の合奏。太鼓と一緒に演奏しました。曲はローソクの形をしたアイスキャンデーという意味です。



### 3 Halb halb Bandung(曲名)

アンクロンとガンパンの合奏。オランダからバンドンを奪い返すという気持ちをこめて作られた曲です。



(福井すみ代)

### 国際交流センター有料施設のご案内

ホール(264名)、会議室7室(10名~36名)レセプションルーム(150名)、料理室(24名)等があります。どうぞご利用ください。

044-435-7000

## 海外生活レポート

# アフガニスタン 5

Noriko Dethlefs  
(紀子・デスレフツ)さん

### アフガニスタンの暖房事情

今年最後の月を目前にして、夜ともなると外は零下5から10くらいまで冷えますが、家の中は暖かくて居心地がよいです。家は、玄関の扉の内側をカーテンで覆って、寒い隙間風ができるだけ入らないようにして、窓の外も厚いビニールで覆っています。そうしないと温度差で地面が伸縮するために、窓ガラスにひびが入るからです。最も一般的な家庭用暖房器具は灯油ストーブで、とっても古風です。ガスストーブを使う家もありますし、湯たんぽも必需品です。あと、1、2ヶ月すると雪が降るそうです。テーブルの下に熱源を置いて上から毛布で覆いをかける、日本の炬燵にとってもよく似た暖房を使っている家もたくさんあります。家の中では日本と同じように靴を脱ぐので、よその家に遊びに行くときは室内履きを持参しないと霜焼けになってしまいます。

### 天気と電気

最近、雷雨があって本当に感激しました。埃だらけの道路がぬかるみと化して、子ども達は泥んこすべりに興じていました。ただ、お天気が悪いと停電も増えます。この間、夫がシャワーを浴びようと泡だらけになったところで停電になり、そのときになって、はたと気づいたのは、井戸の水を汲み上げるにも電気があるってこと。ろうそくの明かりで夕食をとるのは今では日常茶飯事です。こんなに電気のありがたさを身にしみて感じたことはこれまで一度もありませんでした。

### イードのお祭り

ラマダンとそれに続くイード(断食明けのお祭り)のお祭りの時節も過ぎました。こちらの人々にとってはイードのお祭りは、ちょっと日本のお正月に似ています。家を綺麗に掃除して、来客のために甘いものを用意して、

子ども達は両親や祖父母からお小遣いをもらいます。男の子たちは残念ながら、みんな新型のすごい音のおもちゃの銃を欲しがります。イードの間は、家にもたくさんのお客さんがあってすてきだったし、私達も近所を訪ね回りました。お茶とお菓子をいただきながら楽しく歓談しますが、20分以上の長居は禁物。この期間は皆、友達や親類の家を多いときは日に25軒も回るのでさら!

### 療養所の様子

ロジャーは相変わらず、とっても美味しいヨーグルトを作ってくれます。毎朝このヨーグルトと私の作ったミューズリと焼き立てのナンを朝食に食べてから、彼は病院目指して出かけていきます。今でもずっと、当初と変わらず楽観的で熱意に溢れ、しかもウーロンゴンでの仕事部屋に比べて余りに粗末な部屋なのに、嬉々として激務をこなす彼の仕事ぶりには頭が下がります。若い医者達が彼からいろいろ学びたがっていることに、とても勇気づけられています。私も医者達に英語を教えたり整理整頓の手伝いをしたりして、病院での彼の仕事に役立ちたいと頑張っていますし、寒くてお粗末な療養所にカーテンを寄付したりしています。でも、衛生状態を改善し、あそこのトイレに乗り込むのだけは無理!使わずに済むよう努力するのが精一杯です。基本的なところで、まだまだ足りない物がたくさんありますし、制約もいろいろあります。それに、誰もが変化を望んでいるわけでもありません。挑戦は続きます!

(翻訳: 泉 晶子)

### 編集後記

7月2日に開かれたインターナショナル・フェスティバルに取材を兼ねて出かけました。例年に増して活気に満ちた姿に一瞬目をみはりました。多くの国々の参加と市民の方々の協力が実を結んだからではないでしょうか。この様に、交流協会を仲立ちにして、市民の方々の力を借りながら国際化が深められるのが理想ではないかと思いながら展示物やイベントを見て回りました。「NHK」のニュースで取り上げられ、新聞で報道されたのもこれからの活動の励みになりました。(福井すみ代)

### 川崎市国際交流センター

〒211-0033 川崎市中原区木月祇園町2番2号  
TEL 044-435-7000 FAX 044-435-7010  
http://www.bremen.or.jp/kian/

